

正得地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 16 日(水)

場所 正得公民館

出席 35 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	アウトレットが開業して、交流人口は怎么样了か？	アウトレットだけで、450～500 万人近くの交流人口がある。この数字は、三井不動産は発表ではなく、市独自の計算方法で推計したもの。波及効果もあり、クロスランドおやべ、稲葉山、イベント等の来場者が増えてきている。観光では 120 万人である。
2	大谷地区の統合こども園建設に伴う、正得保育所閉所後の利用について地区振興会から要望書を提出した。 公民館とコミュニティ広場には駐車場が少ないので、保育所跡地に駐車場を整備してほしい。災害時の避難所に指定されていた正得保育所がなくなるので、避難所としても利用できるミニ体育館の建設をお願いしたい。大谷校区で公共施設がないのは正得地区だけなので、ぜひお願いしたい。	要望書をいただき、検討しているところである。松沢・正得・荒川・若林、藪波・東蟹谷・北蟹谷の7つの保育所については、解体、売却が原則である。しかし、地区で利用される場合には、協議していくことになる。 避難場所については、配慮していきたい。ミニ体育館については、財源や補助が今は全くないので、市単独で建設することは時間がかかり難しい。しっかりと協議し、良い方法があれば、協力したい。
3	公共施設を統廃合する際には、利用者や関係者の意見を大事にしてほしい。	関係のみなさんと協議してやっていきたい。
4	耕作放棄地を宅地にできないかと考えている。しかし、耕作放棄の田を宅地にする場合、小矢部市では農振除外に時間がかかる。農振除外の手続きが早くできるような体制にしてほしい。	市も同じような考えを持っている。国や県の動きが遅く、なかなか手続きが終わらない。農振除外の事務を県から市に移譲してほしいと思っているが、なかなか難しい。北信越市長会でも、手続きを早くしてほしいと要望している。引き続き、強く要望していきたい。
5	新しい図書館を利用する時に、駅の無料駐車場があればいいと思う。	石動駅に合築する図書館の利用者は、3時間無料になる。駅南には 110 台の駐車場、駅北には 160 台有料駐車場があり、合わせて 270 台分の駐車場がある。
6	中学校を1つに統合するという案があるが、短いスパンでみれば、市で1校よりも現状の4校のほうがよいと思う。中学生が市の大会で優勝し県の大会へ出場できるなど市内で切磋琢磨するという観点も必要ではないか。維持費や経費だけの観点で、考えているのか？	学校施設が老朽化していくので、改修が必要となり、財源も非常に重要な要素となる。学校統廃合の大きな要因は少子化である。新しく大きな学校を建てるのか、既存の学校を利用するのも考えなければいけない。今の大谷中学校に全部集めるのは現実的に厳しいので、議論をしていくことになる。 第一には教育面からしっかりと考えていくことになる。子どもたちが切磋琢磨することを望む保護者もたくさんいる。小学校に関しては、3～4校ということだが、これも学級数が少なくなってきたことも要因だ。中学校へ入ると、中1ギャップの問題もあるようだ。統廃合については、保護者と丁寧に話をしていきたい。

No.	発言要旨	市長回答要旨
7	<p>特区制度を活用してほしい。特区制度を活用した魅力的な農業活動を展開し、農業従事者が安定して農業に従事できて、農業従事者が増加して人口が増加し、地域の健全な発展に寄与することができないかと思っている。富山県と小矢部市が連携をとって、中小規模の農業者が安心して事業拡大や新規事業の進出を図れる環境を作ってほしい。平成28年度のデータでは、小矢部市の特区制度の利用度は低い状態である。特区制度のメリットを考えると、耕作放棄地の農地転用の促進ということで、農業に特化した耕作放棄地を一般地目に変えることがスムーズに進んでいるという自治体も全国にはあるようだ。また新聞に県の農林振興センターでビジネスモデルをレクチャーする富山型農業成長推進会議が発足したとあった。ビジネスモデルを示してもらえれば、自分たちのような中小規模の農業団体は安心して事業投資でき、魅力ある事業になるので、若者も農業に取り組むのではないかと思う。</p>	<p>小矢部市は特区制度を活用していない。まずは情報収集をしっかりと行い、具体的な対策をまとめていきたい。 農業で生活が成り立つように、行政としても一緒に取り組んでいきたい。</p>
8	<p>多面的機能支払交付金(平成28年度まで農地保全管理支払交付金)は、農地、水路などの資源保全管理活動に対して農水省から小矢部市経由で集落に支払われている。若い人も保全管理活動に参加して、地域のコミュニケーションの場にもなっているところもあるので、ぜひとも今後も継続して維持してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として伺っておく。</p>
9	<p>6月20日に福岡料金所が廃止され、高岡方面は無料になるが、小矢部東から北陸道へ入ると210円から350円になるとのことだが、小矢部市民には割引制度があると聞いたが教えてほしい。</p>	<p>福岡料金所が6月20日に廃止され、高岡方面へは無料で行けるが、北陸道に入ると350円になり、不公平感があるというところで、要望をしてきた。 小矢部市民は小矢部東インターにある管理事務所で手続きを行えば、現金車は60円、ETC車は70円が払い戻しされる。</p>
10	<p>第7次総合計画にある「二地域居住タウンおやべ構想」だが、こういった考え方は他の地方自治体にもあるので、圧倒的に小矢部市のここが良いというところがいくつかないかと思う。例えば単身赴任者をターゲットにして、企業側にとってもメリットがあるような策を打つと、他の地方自治体よりももっと認知されるのではないか。</p>	<p>「二地域居住タウン構想」は、中間報告で出た素案である。交通の利便性を活かそうとしている。小矢部市は、決してポテンシャルは低くないので、十分訴える力はあると思う。アウトレットモールの来場者にアンケートをとると、小矢部市に関心を持っている人が多い。自然豊かなところもPRしていきたい。単身赴任者の例は、参考にさせていただく。</p>
11	<p>矢水町の環境センターは、敷地がかなり狭くなり、土曜日などは混雑した状況が続いている。今後、環境センターは、どうなるのか？</p>	<p>環境センターは、いろいろ整備をしてきている。入口が混雑し、道路が混み合ったり、待つ時に不便だというのは、次の課題としている。狭くて困るということであれば、次の計画に入れていかなければならないが、現段階では、整備してきたこともあり、現状のものをうまく活用していきたい。</p>

No.	発言要旨	市長回答要旨
12	<p>中学校の統廃合について、各中学校に2クラスくらいしかない状況で、いろいろなクラブ活動をするにしても、人数が集まらない状況であり、今後、更に子どもがいなくなると、更に深刻になる。その意味でも中学校を1つにするということだが、今の運動施設は全て蟹谷にあるので、そこに大きな学校を建設して、運動施設を利用すればよいと思う。ただ、市の端になるので、市内全域からの通学対策も必要になる。</p>	<p>学校施設について、意見を参考に議論していきたい。いろいろ課題もあるが、教育面からしっかりと議論していかなければいけないと思っている。</p>
13	<p>中学校や公民館を統廃合すると、メルヘン建築がなくなり今までの小矢部の「メルヘンの街」というイメージがなくなってしまうが、どうするのか。</p>	<p>メルヘンは「大人から子どもまでわくわくする、メルヘンを感じられるまちづくり」と新しく定義した。これまではメルヘン建築が前面に出ていたが、これからは「新メルヘンの定義」でまちづくりを進めていく。</p>